

# イベント報告

令和7年11月15日（土）午後2時～3時

## 本との出会いがおもしろい！本屋さんのお仕事

書店と図書館が連携し、読書活動を推進する取り組みの一環として、丸善八尾アリオ店の店長さんに「本屋さんのお仕事」というテーマで講演していただきました。

### ●まずは自己紹介

飲食業から書店に転職し、パートから始めて20年。

2023年3月に八尾アリオ店の店長に。

通常の書店業務のほか、店長としてスタッフマネジメント、売上管理、イベント企画などを行っている。

畠違いの前職に一同から驚きの声が…



### ●続いて八尾アリオ店について

面積は360坪程の中規模店で、蔵書はおよそ19万冊、来年で20周年を迎える。

書籍や文具を販売、高級筆記具には専門のスタッフも。

2023年の台風で大きな被害を受け、5ヶ月間休業を余儀なくされた。

再開時の喜びを、涙を滲ませながら話されました



### ●書店の一日、書店業界について

開店2時間前から毎朝50～70箱の段ボールを開封。

雑誌の付録やマンガ本のビニールカバー付けも書店の仕事。

開店後もレジを分担しながら作業を続けている。

かなり体力が必要な仕事で、1日1万歩を超えることも多い。

委託販売制度や再販制度についても分かりやすく解説。

新刊書籍の発行は一日200冊。意外に少ないと感じた人が多かった様子

### ●最後に

書店員として「目利きになること、チーム力、伝える力」を日々心掛けている。

「目利き」常に流行にアンテナをはり、鮮度の高い売り場作り、生きのいい棚作りを。

「チーム力」総勢20名の店員とのコミュニケーションを大事にしている。

「伝える力」本の持つ魅力を伝える力を持つこと。読書体験が人を知ることにつながる。